

令和5年第2回

大河原町議会定例会（6月会議）

一般質問通告書

大河原町議会

令和5年第2回大河原町議会定例会（6月会議）

一般質問通告書

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
1 番	高橋 芳 男	<p>1. 自治会等のデジタル化について</p> <p>2. 高齢者の生活移動の足の確保について</p>	<p>1 番目の質問は、自治会などのデジタル化についてであります。</p> <p>現在、人口減少と高齢化により、自治会等の地域住民の支え合いによる組織が弱体化し、地域コミュニティを維持することが難しくなっております。核家族化が進み、家族の支え合いの機能が低下し、孤独や孤立の問題も深刻化し、非正規雇用の増加等により、職場での家族的な繋がりも薄れるなど、私たちを取り巻く社会環境が急激に変化する中で、安全に安心して暮らせる地域を守る自治会等の役割は非常に大きいと思います。</p> <p>また現在、人口が減少し、高齢化が進む地域では、自治会等の役員として働ける方も少なくなる中で、地域コミュニティの維持は難しいと思います。今後は、デジタル技術を活用して、住民同士の情報交換の場を創設したり、持ち回りの回覧板を電子回覧板に移行したり、広域的に活動している様々な事業主体と地域住民の情報交換の場を開設したりと、柔軟で多様な連携を可能にする自治会等の役割は非常に大きいと思います。そのため、デジタル化を進める必要があると考えます。</p> <p>そこで、自治会等のデジタル化など、デジタル技術を活用しての地域コミュニティの再構築についてどのように考えているのか。また具体的にどのような取り組みを進めているのか、お聞かせください。</p> <p>2 番目の質問は、高齢者の生活移動の足の確保をであります。</p> <p>人口減少の中、高齢化社会を支える上で、住民、特に高齢者が自立した生活を営むための移動について真剣に考える時が来たのではないかと考えます。</p> <p>地域の高齢者の方々は、中心部に暮らす方でもスーパーや病院、役場に行くだけでも片道30～40分かけて徒歩で移動しているケースが珍しくありません。</p> <p>山間部にお住いの方にとっては文字通り「死活問題」であると言えます。最近よくニュースで見かけるのは高齢者の運転する自動車の事故です。全国的には、自主的に高齢者の運転免許証を返納する方や、推進する自治体も増えてきていますが、生活の実情にあわないため、また準備不足のためになかなか進まずにいると伺っております。</p> <p>特に本町では、生活移動のほとんどを車に依存することを余儀なくされる地域であります。高齢者の方にとっては、生活移動の足が確保されないままで免許証だけ返納しろというのは、到底受け入れられない要求だと言わざるを得ません。高齢者が運転免許証を返納しても、社会全体で高齢者の生活を支える移動手段に行政が知恵を絞る必要があると思います。</p> <p>本町では、国土交通省より平成19年に策定され</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
1 番	高橋 芳 男	2. 高齢者の生活移動の足の確保について	<p>た「地域公共交通網形成計画」の策定をされた経過はありますか。また、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正が平成26年に施行され、地域全体の公共交通のあり方、住民・交通業者・行政の役割を定め「地域公共交通網形成計画」の策定ができるようになり、各自治体においていると思います。</p> <p>タクシー・デマンド・オンデマンド等視野に入れて、このような計画を基に今、本町に最も必要な公共交通ネットワークの形成を進める必要があると思うが、どうか。</p>
		3. 重層的支援体制整備事業の推進について	<p>3番目の質問は重層的支援体制整備事業の推進であります。</p> <p>重層的支援体制整備事業とは地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中、従来の支援体制では課題があるため、高齢や障がい、困窮など属性、世代を問わず、包括的な支援体制の構築を市町村が創意工夫をもって円滑に実施できる仕組みとすることが急務であるとのことから、社会福祉法が改正され、令和3年4月に施行されました。</p> <p>これは市町村の任意事業ではありますが、この改正社会福祉法をうけた、重層的支援体制整備事業への取り組みをぜひ推進していただきたいと思います。</p> <p>問題の一つとして「生理の貧困」問題があります。任意団体「#みんなの生理」による調査で5人に一人の若者が金銭的理由で生理用品を買うのに苦労したとの調査結果が報道されました。</p> <p>これに対し政府は「地域女性活躍社会推進交付金」を拡充し、NPOなどが困窮女性に生理用品を提供するための費用に同交付金を活用できるようにしました。この結果、全国の581の自治体で支援が行われています。</p> <p>本町では、これらの交付金使用実績はあるのでしょうか。また、これからどんな運用を計画されているのでしょうか。</p> <p>問題の二つ目として、ヤングケアラーの問題があります。</p> <p>国は家族のケアや世話を担う18歳未満の子どもたち、いわゆる「ヤングケアラー」の実態について調査し、中学生は約17人に一人、高校生は約24人に一人がヤングケアラーだと報告しました。</p> <p>この問題は、学校や友人関係、就職にも影響する深刻なケースもあり、障がいのある兄弟や見守りの世話を担う場合、手伝いの負担が見過ごされがちになります。</p> <p>本町においても、実態を早期に把握し、適切な支援につなげるための取り組みが急務であると考えます。</p> <p>複雑化・複合化する地域住民の課題に対応する為、重層的支援体制整備事業の推進・活用が重要だと思いますが、どうか。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
2 番	中村 淳	1. スポまち推進課の業務について	<p>今年度より、新たにスポーツまちづくり推進課が設けられた。</p> <p>1 2月議会で組織及び所掌事務について説明を受けたが、正式に活動を開始したと思われるので、以下質問する。</p> <p>(1) 学校体育以外のスポーツについての管理運営を生涯学習課より分離して町長部局にスポまち推進課を設置したと理解しているが、変更された部分はないか。</p> <p>(2) スポーツイベントの運営に関する項目が抜けているように思うが、所掌事務に記載する必要はないのか。</p>
		2. 運転免許証自主返納時の支援施策について	<p>運転免許証を自主返納した場合、本町では交通手段を失う方に対して、デマンド型タクシーの利用券又は、タクシーチケットを支給しているが、自主返納の実態について質問する。</p> <p>(1) ここ数年の返納数の推移を示してほしい。</p> <p>(2) 家族による交通手段がある場合、現在の支援策を必要としないと思われるが、支援を受ける方と、受けない方で不公平感はないか。</p> <p>(3) 支援が目的ではあるが、自主返納の数を増やすことを目的として、返納時の特典という形にして、ほぼ同額の町内で使えるクーポン券の支給は考えられないか。</p>
3 番	万波 孝子	1. 白石川右岸河川敷等整備事業について	<p>白石川右岸河川敷等整備事業は、現在まちづくりの核となる「おおがわら千本桜スポーツパーク」を目指し、着々と事業が進められている。すでに堤外地に完成し利用されている「サイクリング・ウォーキングロード」「マウンテンバイクパーク」「ドックラン」「芝生広場」に加え、現在36ホールの「パークゴルフ場」がオープンを間近に控えている。</p> <p>これから堤内地（田んぼ側）に整備されようとしている「賑わい交流拠点施設整備事業」は敷地面積5.5haに整備されると聞いている。令和5年3月2日の議会全員協議会の資料によると、令和3年度基本計画時の計画平面図では、①交流施設（カフェ・ミーティングルーム、桜の魅力発信スペース、レンタル収納スペース、防災用備蓄倉庫、シャワー室等）②スポーツ広場、スケートコート、フットサルコート、遊具を備えた遊び場、駐車場（76台分以上）等を計画している。</p> <p>このように白石川右岸河川敷等整備事業は、住民の健康増進と共に観光スポットとしても位置付けられて、多額の税金を投入する町の一大事業である。</p> <p>すでに堤外地に整備された施設とともに「賑わい交流拠点施設についても“いかに町民に親しまれ、</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
3 番	万波 孝子	1. 白石川右岸河川敷等整備事業について	<p>利用される、利用しなくなる魅力ある施設にしているか”が問われていると考える。 そこで以下伺う。</p> <p>(1) 昨年4月から12月まで賑わい交流拠点施設整備サウンディング調査が実施された。町長は厳しい指摘がされていると受け止めているが、どのように総括し、計画に活かしていくのか。</p> <p>(2) 白石川右岸河川敷等整備事業に出てくる（パークゴルフ以外）各スポーツの愛好家（利用者）は各々どの位いるのか。</p> <p>(3) 堤外地に整備された「マウンテンバイク」などの利用状況（町内・町外）は。利用度を高めるための対策は。</p> <p>(4) 町のパークゴルフの協会の会員数は約80名いるそうだが、子どもから高齢者まで幅広く愛好者を募っていくべきと考えるが具体案は。</p> <p>(5) 賑わい交流拠点施設整備について伺う。 ①総事業費はいくらになる見通しか。 ②5.5haの敷地に計画されようとしている令和3年度基本計画時の計画平面図が示されているが、町民に広く知らせ、多くの声を聴く場を保証していくか、これが町当局に今、最も重要なことと思うがどうか。具体策は。 ③広く町民の意見を聞く検討委員会などを立ち上げていくべきではないか。</p>
		2. 放課後児童クラブについて	<p>放課後児童クラブは共働き世帯の子どもにとって欠かすことのできない安心・安全な生活の場である。 現状と改善について伺う。</p> <p>(1) 8施設の利用状況は。待機児童はいるのか。職員（正規・非正規）の配置は。</p> <p>(2) 上谷児童館と児童センターの職員は自由来館利用の児童と放課後児童クラブの児童の相手をしている。職員の体制は万全か。</p> <p>(3) 児童センターは最も交通量の多い県道沿いにある。迎いの時間帯5時過ぎには集中すると路上駐車ともなり、交通事故防止対策が急務であると考え。現状をどのようにとらえているか。安全策について。</p> <p>(4) 児童センター職員の駐車場の確保状況は。改善が必要と思うがどうか。</p> <p>(5) 土曜日の保育については、現在、拠点方式により世代交流いきいきプラザでの保育が実施されている。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
3 番	万波孝子	放課後児童クラブについて	<p>①拠点方式を設けている理由は。</p> <p>②現在、利用している児童数（学区ごとに）と職員の配置は。</p> <p>③保育時間8時開始を15分から30分程度時間を少し早めてほしい声がある。検討できないか。</p>
		3. 町営住宅について	<p>町営住宅には、現在152世帯（令和4年度末）が入居している。町営住宅は低所得者層を対象に建てられた住宅である。</p> <p>相次ぐ物価高騰やエネルギー高騰、年金削減などの影響は低所得者層には大打撃となっている。</p> <p>(1)町営住宅条例第17条や町営住宅条例施行規則第12条で家賃の減免又は徴収猶予が定められているが、入居者への周知・啓発はどのように行われているか。</p> <p>(2)ここ数年間の減免申請と適用実績は。結果をどう受け止めているか。</p> <p>(3)住宅使用料や駐車場使用料を滞納せざるを得ない状況をどのように捉えているか。</p> <p>(4)町営住宅は浴槽や風呂釜は入居者が購入することになっている。その理由は。改善が必要でないか。</p>
4 番	佐藤 暁史	1. 子育て支援について	<p>令和5年4月、政府はこども真ん中社会に向け「こども家庭庁」を新設した。本町でも子どもの一時預かりの充実や、家庭センターの設置にいち早く取り組んでいる。町長の施政方針には、「こども家庭センター」は令和6年度4月設置に向け準備を進め、さらに拠点となる複合施設整備の検討を進めるとある。この施設は保健センターの機能も有し、子育て世代にとって重要な複合施設になるものと考えられる。そして利用者は高齢者や障がい者など多岐にわたるものと考えられる。</p> <p>子育て世代にとっては、一時預かりや放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の充実が非常に重要である。ひとり親世帯、共働き、核家族化など、子育てをする環境も家庭によって様々である。本町が更に子育てしやすいまちになるよう以下伺う。</p> <p>(1)こども家庭センター（複合施設）</p> <p>①拠点となる複合施設建設の計画は進んでいるのか。建設場所などを含め進捗状況を伺う。</p> <p>②複合施設を建設する際には誰もが利用しやすいユニバーサルデザインになるものと認識している。しかし利用者が更に使いやすくなるよう、障がい者や子育て世代、高齢者の「生の声」を聴くべきだと考える。本町では着工前にそのような機会を設ける考えはあるか。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
4 番	佐藤 暁史	<p>1. 子育て支援について</p> <p>2. スポーツ推進について</p>	<p>(2) 放課後児童健全育成事業</p> <p>①一斉申し込みでは一年生を優先している。希望を出した一年生は希望した場所に入所できたのか。</p> <p>②児童センター児童クラブは定員45名だが、定員の都合で入所できなかった児童はいないのか。また大小に空き教室はないのか。</p> <p>③夏休みなどの長期休暇中の学童保育において、親の負担を軽減するため希望する児童には食事を提供できないか。アレルギーや公平性の観点などから容易でないことは理解している。しかし本町ではそのような要望を把握し対応などは考えているのか。</p> <p>④こども家庭センターの複合施設内に、子育て世代を支援するため放課後児童健全育成事業の施設を併設するべきではないか。</p> <p>令和5年の5月18日、宮城県をホームタウンとする女子バレーボールの社会人クラブ「リガーレ仙台」が町長のもとを表敬訪問した。本町ではスポまち推進課も設置され、令和5年4月には「大河原町総合型地域スポーツクラブ」も設立された。これにより更にスポーツを生かしたまちづくりに期待がもてる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症は今年の5月から5類感染症になった。しかしこれまでのコロナ禍で、町民のスポーツやレクリエーションの機会が減ってしまった。児童たちにおいては何かを体験するという機会も大幅に減るといった状況が続いていた。コロナが5類感染症になりアフターコロナとなった状況下で、もう一度スポーツを通し「人と人」の繋がりを見直すべきだと考えることから以下伺う。</p> <p>(1) 表敬訪問の際に協定の話が出ていた。実際に本庁では協定を結ぶのか。結ぶとしたら金銭面での負担などはどのようになるのか。</p> <p>(2) 本町には総合体育館がある。(1)の協定の話に伴ない「リガーレ仙台」のサブホームタウンに名乗りを上げてはどうか。</p> <p>(3) 「リガーレ仙台」を含め様々なプロスポーツ選手を招き、町でスポーツのイベント、スポーツ教室などを開催する考えはあるか。例えば今回表敬訪問したリガーレ仙台を招いての「町民バレー教室」、夏休みに子ども達向けに「バレー体験教室」など。</p> <p>(4) ビーチバレーがオリンピックの正式種目になって20年以上が経つ。近年ではビーチバレーは海のスポーツではなくなっている。ビーチバレー国内ツアー「マイナビ・ジャパンツアー」は東京の立川市を皮切りに、渋谷区宮下公園、横浜赤レ</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
4 番	佐藤 暁史	2. スポーツ推進について	<p>ング倉庫と人が多く集まれるアクセスのよい場所で試合が行われる。本町では「大河原千本桜スポーツパーク」が整備され、「賑わい交流施設」の整備も進んでいる。このビーチバレーを通し、交流人口を増やすことも可能だと考える。そこで、本町の公園や白石川右岸など、町の土地を利用してビーチバレー(別名サンドバレーとも言われる)のコートを整備する考えはないか。</p>
		3. 自転車のヘルメット着用について	<p>5月1日のおしらせばんに「自転車に乗る時はヘルメットを着用しましょう」という記事が掲載された。令和5年4月1日から改正道路交通法が施行され、全ての自転車利用者に対して乗車中のヘルメット着用が努力義務化されたことにより、町民への周知を図ったものだと認識している。</p> <p>本町では「みやぎ仙南サイクルツーリズム」を推進しており、以前町長はサイクリストを歓迎する意気込みを話していた。MTB パーク S-park も完成し、井出川プロを招き初心者向けのレッスンが開催されるなど、様々なイベントが行われていることから以下伺う。</p> <p>(1)ヘルメット着用が努力義務化されたが、本町ではヘルメットを購入の際に町民に助成をする考えはあるか。</p> <p>(2)中町地内の交差点で中学生が自転車で転倒して骨折したという情報がある。小学校や中学校で交通ルールの勉強をする機会はあるのか。</p> <p>(3)見守り隊をしていると、大人も交通ルールを理解しておらず危険な運転をしている。自転車に乗る人の中には車の免許が無い人、免許があっても車を運転する機会の少ない人もいる。おしらせばん、または別紙折り込みをしていくなど、改めて交通ルールの周知をすすめてはどうか。</p>
5 番	丸山 勝利	1. 物価高騰に対する支援について	<p>新型コロナウイルス感染症も5月8日より2類相当から5類に引き下げられ、細かな移行期間はあるものの季節性インフルエンザ並みの対応になった。コロナ禍では当たり前だったマスク着用も3月13日以降個人の選択、判断となりコロナ以前の生活が取り戻りつつあるように感じられる。コロナ禍では感染者数の増加により行動制限等が設けられ、不自由な生活が強いられてきた。コロナ禍では様々な生活支援や企業支援などが行われ、地方創生臨時交付金の活用による支援対策や町独自による支援など、町民や町内企業にとって非常に助かり、ありがたい支援だったと思われる。5類引き下げ前ではあるが、4月末から5月初めのゴールデンウィークでは、各地でコロナ禍以前の賑わいを取り戻し、インバウンドによる外国人も多く見受けられるようになった。しかしながらコロナ禍が落ち着き、町民や企業が生活向上や業績向上が期待されたが、ロシアのウクラ</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
5 番	丸山 勝利	1. 物価高騰に対する支援について	<p>イナ侵攻などにより世界経済の混乱で生活物資や食料、電気、ガス、燃料の高騰により町民の生活は厳しさを増しているように思われる。町民、企業支援について以下伺う。</p> <p>(1) 物価高騰に対し、町民生活や事業活動を支援するためとし、6月から8月までの検針分の水道料金の基本料金とメーター使用料を減免するが、状況によっては延長や一部減免など考えてはいないのか。</p> <p>(2) 千葉県では子育て世帯への県独自の支援として小学1年生から中学3年生まで、また、高等学校等新入学生臨時給付金として高校1年生を対象にそれぞれ1人一律1万円が支給されるようだが、本町においては低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給金の支給があるが、子供を持つ親全世帯に対しての支援として、町独自の支援策はないのか。</p> <p>(3) 物価高騰の波が収まる気配がない、生活物資のあらゆるものが値上がりし、また、東北電力では6月1日より電気料金を平均で25.47%値上げすると発表している。しかしながら給料などの賃上げは見込めない状況にある。住民税均等割非課税世帯に対するエネルギー・食料品等物価高騰対策支援給付金はあるが、全世帯を対象にした物価高騰に対する支援はできないか。</p> <p>(4) コロナ禍において中小企業者支援給付金や物価高騰に対しては、原油価格・物価高騰対策中小企業者支援金などの中小企業支援を行ってきたが今なお燃料費や物価高騰が収まらず価格転嫁もままならない状況にある。今後さらなる支援はできないか。</p>
6 番	大沼 忠弘	1. 学校の学習環境について	<p>本町は子どもたちの学力が県下でトップクラスを誇る成果を出し続けており、教育のブランド化が図られているものと捉えている。読書と学力は相関関係があるとも言われており、相応の取り組みがなされたものと察する。学習に体育、文武両道が理想ではあるが強制するものでもない。併せて食育としての体づくりも欠かせない学校の役割と認識している。小中学校の児童生徒たちがよりよい学習環境の下で、より一層のびのびと学校生活を過ごせることを願い以下伺う。</p> <p>(1) 読書と学力の相関関係について、本町での考え方は。</p> <p>(2) 本年度は各学校図書購入費を手厚く予算計上した。充足率を上げることは当然だが、その書物をいかに手に取って読んでもらうか、この観点が欠</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
6 番	大沼忠弘	1. 学校の学習環境について	<p>けてはならない。これまでの図書利用、閲覧状況はどうなっているか。</p> <p>(3) 朝読書の状況について教えてほしい。</p> <p>(4) 学級文庫の整備状況はどうなっているのか。</p> <p>(5) B & G財団が海洋センターの所在する自治体を対象として郷土の偉人を紹介するマンガ制作助成事業を行っている。郷土への興味関心と生き方を考えるきっかけへつなげることを目指している。近隣の蔵王町、川崎町も同事業を活用しているところだが本町に海洋センターはない。今年は高山開治郎氏が桜を植樹して100周年にあたる記念すべき年でもある、みやぎの先人集、おおがわらの先人集に同氏の功績が記されているが、子どもにもわかりやすいマンガにして後世に伝えていくことをしてみてもどうか。</p> <p>(6) 休み時間、業間時間等の過ごし方は、業間運動などの奨励している取り組みはあるのか、実情を教えてください。</p> <p>(7) 今春東京の小学校校庭で、埋設されていた古いグラウンドロープ固定釘が飛び出てきたもので大怪我を負う事例があった。本町における校庭の点検状況等はどうなっているか。</p> <p>(8) 給食時の黙食は現在どういう措置をとっているのか。</p> <p>(9) 学校で生き物を飼育している状況はあるか。学校で生き物を飼う事の意義について本町での考え方は。</p>
		2. 環境意識の醸成について	<p>フリーマーケットアプリのメルカリと自治体が連携して、回収した粗大ごみの中でもまだ使用できる家具やレジャー用品等を販売することで、ごみの減量化や処理費用の圧縮に努めながら環境意識の啓発を図る取り組み事例が増えてきている。販売にかかる手数料を差し引いた分が自治体の収入にもなるが、収入よりもリサイクルやリユースといった意識の拡大への寄与が大きいものと受け止める。また、本町ではリサイクルステーションが設置され、利用も多い一方、利用マナー違反が時折見受けられている。環境意識の醸成を図りながら、リサイクル、リユース、適正なごみ処理をすすめるべきと考えることから以下伺う。</p> <p>(1) メルカリ社と自治体連携をしてみてもどうか。</p> <p>(2) リサイクルステーションでの回収可能品目以外のごみの持ち込みなど、マナー違反の実態を教えてください。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
6 番	大沼忠弘	2. 環境意識の醸成について	<p>ほしい。</p> <p>(3) 割れた食器類や乾電池などを専門に持ち込み出来るステーションを設けてみてはどうか。</p> <p>(4) これまでもリサイクルステーションの増設について質問があったが、今も予定はないか。</p> <p>(5) 図書館、学校図書の高くなった蔵書等の処分はどのように行っているのか。チャリボンというような古本を寄付に替えて、社会問題解決へつなげている仕組みもいくつかある。古本といってもISBN番号が付いていることなどの条件もあるが、今後活用する考えはないか。</p>
		3. 桜まつり開催について	<p>4年ぶりに桜まつりが開催された。植樹100周年という節目の年でもあり、メディアに取り上げられることも多かったように感じる。近年は早咲き傾向にあり、3月中に開花を迎え、年度を跨いで開催となっている。今回は企業との連携協定による社会実証が行われるなど、従来なかった新たな試みが行われる内容でもあった。よりよい形で継続されていく為に検証と反省は必要であることから以下何う。</p> <p>(1) 年度を跨いでの開催が今後も続くように思われる、その際予算編成の考え方は。</p> <p>(2) 社会実証で試した広域Wi-FiやAIカメラの検証結果は出たのか、出ているなら示して欲しい。まだならいつ頃でてくるのか。</p> <p>(3) 小中学生によるジュニア英語ガイドの活躍状況を教えて欲しい。</p> <p>(4) 会場周辺だけではなく、桜町方面からも期間中の違法迷惑駐車の実態を聞いた。警察との協議や今後の対策はどうなっているのか。</p> <p>(5) 高山開治郎氏の桜樹碑洗浄を植樹100周年に合わせて行うべきではなかったか。</p>
7 番	大沼常次	1. 公的施設における清掃業務の外部委託について	<p>(1) 役場庁舎他付属施設の清掃を外部に委託しているが、いかなる理由で外部委託しているのか。</p> <p>(2) 町内の小中学校においても、50万円から100万円の予算をつけて校舎の床清掃を外部委託している。その理由は何か。</p> <p>(3) (2)について、学校においては児童生徒が自ら清掃活動を行っているにもかかわらず、町教委が予算をつけた経緯はどのようなものか。</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
7 番	大沼常次	2. 生涯スポーツの行政課題について	<p>(1) 町長の本年度の施政方針の一つである「スポーツの力を活用したまちづくり」を具現する町全体を俯瞰した生涯スポーツ推進に関する基本計画はあるのか。</p> <p>(2) (1)において、一つの受け皿となりうる「総合型スポーツクラブ」事業がようやく緒に就いたようであるが、議会にはその概要の説明がほとんどない。既に会員募集は始まっている。詳細な説明を求める。</p> <p>(3) サウンディング調査においても厳しい評価を受けたMTB(スパーク)について、今後、どのような事業展開を進めようとしているのか。</p> <p>(4) パークゴルフ場の管理業務委託については、現在、公募型プロポーザルによって公募、手続等が進められているが、パークゴルフ場管理運営委託業務仕様書において「貸与機材」とあるが何を指すのか。また、この仕様書にはパークゴルフ場の芝の長さ規定、作業頻度等の記載が欠落している。なぜなのか。</p> <p>(5) パークゴルフ場の利用者を増やし、町民からの税の補填をできるだけ最小にするための事業展開について説明願う。</p> <p>(6) 官民連携手法導入可能性調査の公募要項を見ると、業務目的に「賑わい交流拠点施設を整備する基本設計を策定した。」との表現があるが、過年度実施したサウンディング調査において現行の基本計画では事業性に関しては大変厳しいとの指摘がされていた。 再度確認するが、交流拠点施設を整備する現行の基本プランは白紙に戻すのか、それとも現行の基本プランのまま進むのか。</p>
8 番	須藤 慎	1. 職員のメンタルヘルス(心の健康)について	<p>今年3月15日の河北新報朝刊に「宮城県内35市町村職員のメンタルヘルス不調による長期病休者」の記事が大きく掲載された。 この記事によると、「メンタルヘルス(心の健康)を損なって職場を1ヶ月以上離れる長期病気休暇取得者が増え、令和3年度(2021年度)に長期病休取得者全体の6割を超えたことが県の調査でわかった」との内容であり、大河原町(以下:本町)は、長期病休者が6人で、5人がメンタルヘルス不調(83.3%)、職員に占める割合が1.5%となっていることから以下同う。</p> <p>(1) 長期病休取得者について ① 令和4年度、令和5年度の長期病休取得者の人数を伺う。 ② 今回の報道及び現在の本町の長期病休取得者の</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
8 番	須藤 慎	1. 職員のメンタルヘルス（心の健康）について	<p>状況をどのように考えているのか伺う。</p> <p>③上司からの罵声等のパワハラ行為は断じて許されるものではない。このような行為についての本町の現状をどのように把握しているのか。またこの対応策についても伺う。</p> <p>(2)直近に行われた本町の職員ストレスチェックについて</p> <p>①職場の健康リスクは、100 を基準として評価される。実施結果は、所属別（課ごと）に示されるようであるが、総合健康リスクが100を超えた課は、いくつで、どの課なのか伺う。</p> <p>②ストレスチェックの結果をどのように捉えているのか。また、この結果を踏まえ、どのように対処しているのか伺う。</p> <p>(3) 本町職員の業務量について</p> <p>①地方創生や新型コロナウイルス、更には自然災害への対応等、本町に限らず地方自治体職員の業務量は増える一方にあると考える。職員の業務量増大と負担増についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>②このような状況下、職員数の適正化についての考えを伺う。</p>
		2. 桜まつり等について	<p>わが町が誇る一目千本桜。今年、桜植樹100周年を迎え、新型コロナウイルスの影響で開催することができなかった桜まつりを4年振りに開催することができたことは、大変喜ばしいことである。桜100選にも選ばれている本町の一目千本桜、本年も県内外から多くの観光客の皆様が本町を訪れ、今後も更に観光客が増えていくことも予想される。</p> <p>また、新型コロナウイルスの影響で開催することができなかった各種イベントも今後通常通り開催されていくものと考えることから以下伺う。</p> <p>(1)桜まつりについて</p> <p>①今回の桜まつりの観光客数を伺う。</p> <p>②今回の桜まつりを振り返り、成果と課題もあったと考えるが、次年度の桜まつりに向けての改善点等について伺う。</p> <p>③以前の一般質問でも取り上げているが、ライトアップの範囲を徐々に増やしていく考えはないのか伺う。</p> <p>④桜まつり期間中の出店について、キッチンカーでの販売希望の声もあったが、次年度以降検討する必要があると考えるがどうか。</p> <p>⑤お花見弁当は、大変盛況だったようであるが、行列も大変多く見えた。整理券を配る等、行列の解消について改善する考えはないのか伺う。</p> <p>⑥開花が早まり、イベントを設定した日には、桜が散り始めていた。気温の関係もあり、開花の予想やイベントの設定については、大変難しい</p>

No.	質問者	質問事項	質問の要旨
8 番	須藤 慎	2. 桜まつり等について	<p>ことは十分承知している。桜まつり期間中のイベントを増やす考えはないのか伺う。</p> <p>⑦桜まつり期間中の渋滞についての認識と今後について伺う。</p> <p>(2)花火大会について、以前の説明では、開催場所について検討中とのことであったが、開催日と場所について伺う。</p>

